

JA 全農杯 全国小学生選抜サッカー IN 中国
兼 第 22 回中国ユースサッカーU-12 ジョイフル大会開催要項

1. 趣 旨 子どもたちが、サッカー競技を通して身体を鍛え、フェアプレーの精神を培い、正しく力強く生きることを願って開催する。
2. 名 称 JA 全農杯 全国小学生選抜サッカー IN 中国
兼 第 22 回中国ユースサッカーU-12 ジョイフル大会
3. 主 催 一般社団法人中国サッカー協会 日刊スポーツ新聞社
4. 後 援 公益財団法人日本サッカー協会
広島県、福山市、福山市教育委員会（申請中）
5. 特別協賛 全国農業協同組合連合会（JA 全農）
6. 協 賛 山口県農業協同組合、島根県農業協同組合
7. 主 管 一般社団法人中国サッカー協会第 4 種委員会
公益財団法人広島県サッカー協会・同第 4 種委員会
8. 期 日 監督会議のWEB開催 3月31日（日）10：00～（予定）
2024年4月6日（土）～7日（日）
※開会式は行わない。
※選手は、受付後、試合開始時間までに各試合会場に集合する
※4月7日（日）14：50 予定 閉会式「福山通運ローズスタジアム」
9. 会 場 「福山通運ローズスタジアム」アップ場：多目的広場
〒720-0832 広島県福山市水呑町 4748 TEL(084)956-4563
10. 参加チーム数 中国 5 県より推薦団体 2 チームずつ（開催県は 4 チーム） 合計 12 チーム
開催県 4 チーム+他の県は 2 チーム×4 県
11. 参加資格
 - (1)大会実施年度に第 4 種加盟登録した団体(チーム)であること。(準加盟チーム含む)
 - (2)上記団体(チーム)に所属する選手であり、(公財)日本サッカー協会(以下日本協会)行?の登録選手証を有する者。
 - (3)参加選手は、電子登録証または、登録選手一覧を出力した用紙を持参すること。
 - (4)各県協会の推薦を受けたチームであること。
 - (5)原則としてチーム編成は、引率指導者 2 名以上 3 名以内、選手 16 名以上 20 名以内とする。ただし、試合毎のエントリーは 16 名とする。
 - (6)引率指導者は当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチりするチーム指導者は日本協会公認コーチ資格(D 級コーチ以上)内 1 名以上は日本協会公認コーチ資格(C 級コーチ以上)を有すること。

- (7)参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (8)選手は必ず傷害保険に加入していること。
- (9)各県大会から中国大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」へ移籍後、再び参加することはできない。

12. 大会形式

別紙大会方法・日程による。 ※事務局による抽選により組合せ決定

- (1)第一ラウンド(予選リーグ)及び決勝トーナメントを行う。
- (2)第一ラウンドは 12 チームを 3 チーム 4 グループのリーグ戦を行い、上位 1 チームがトーナメントに進出する。2 位・3 位チームは、フレンドリーマッチを行う。
 - ※順位決定は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。
 - 勝点は、勝ち：3 点、引き分け：1 点、負け：0 点とする。
 - 但し、勝ち点と同じ場合は、得失点差・総得点数・当該チームとの対戦結果等すべて同率の場合は、監督もしくは指導者による PK 枠決定後、PK 戦により順位を決定する。
 - ※ 3 チームによる順位決定 P K 対戦は、トーナメント方式で行うこととする。

13. 競技規則

- (1)大会実施年度(公財)日本サッカー協会競技規則(JFA8 人制サッカー競技規則)による。

14. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

- (1)審判員：1 人の主審と補助審判が指名される。
- (2)雨天の場合も決行する。
- (3)試合時間は 12 分×3 ペリオドとし、ペリオド間のインターバルは、第 1 ペリオドと第 2 ペリオド間は選手総替えに要する時間のみとし、第 2 ペリオドと第 3 ペリオド間は 3 分以内とする。
- (4)第 1 ペリオド、第 2 ペリオドは予め決められた選手が出場する。(総替えすること)
- (5)第 1・第 2 ペリオドは自由な交代ではない。事故、けが等で出場困難となった場合に限り、第 1 ペリオドは第 2 ペリオド出場予定選手が、第 2 ペリオドは第 1 ペリオドに出場した選手が出場できる。交代して退いた選手は再び出場できない。
- (6)第 3 ペリオドは自由な交代とする。第 1・第 2 両ペリオドに出場した選手を除き、出場できる。
- (7)第 3 ペリオドの中間点(タイミングは審判にゆだねる)で、両チーム攻めるコートを替える。再開はキックオフとし、第 3 ペリオド開始のキックオフと反対のチームが行う。
- (8)第 1 次ラウンドで勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- (9)決勝トーナメントは、各グループ上位 1 位チーム合計 4 チームで行う。
 - ・ 試合時間 36 分で勝敗が決しない場合は、6 分(前・後半 3 分)の延長戦を行い、前後

半コートに入れ替えをする。(Vゴール方式は採用しない)延長戦は自由な交代とする。交代要員含め誰でも出場できる。それでも決しない場合は、PK方式(3人ずつ)によって勝敗を決定する。

- ・延長戦に入る前のインターバル：5分
- ・PK方式に入る前のインターバル：1分
- ・3位決定戦を行う。
- ・資格ある競技者は、ペナルティーマークからのキック進行中に、いつでもゴールキーパーと入れ替わることができる。その時のユニフォームはそのままよい。

(10)極端な身体の不調などの場合を除き、全員必ず1ピリオド以上2ピリオド以下の時間をプレーするものとする。

(11)競技者の数は、常に8人(内1人はゴールキーパー)とする。

(12)フレンドリーマッチにおいては、エントリー選手全員を出場させることができるが第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総替えすること。第3ピリオドは自由な交代とする。

(13)フレンドリーマッチにおいて同県同士の組合せになった場合は、大会本部により組合せを変更する。

(14)競技のフィールド

- ・ピッチサイズ：縦68m×横50mを原則とする。ただし、競技場の都合により変更する場合がある。
- ・ペナルティーエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールライン直角に12m
- ・ゴールエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールライン直角に4m
- ・センターサークルの半径：7m
- ・ペナルティーマーク：8m
- ・ペナルティーアーク：7m
- ・ゴールの大きさ：少年用ゴール(2.15m×5m)

(15)試合球は、少年用4号検定球 MIKASA ALMUNDO FT450B-BLY を使用する。

(16)競技者の用具・ユニフォーム

- ①日本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- ②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。(FP・GK用共)申込書に登録されたものを原則とする。番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。
- ③正・副の2色については明確に異なる色とする。
- ④ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとして、フィールドプレーヤーがゴールキーパーとしてプレーするときのユニフォームについては、上着だけ着替えることでも

よいこととする。番号は同一番号とする。(登録の番号は、1選手につき1つとする)
ただし、スタート時は登録されたフィールドプレーヤー・ゴールキーパーユニフォームで始める。

- ⑤審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑥前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショート及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑦ユニフォームのデザイン、ロゴが異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- ⑧ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑨アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑩アンダーショートおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑪Jクラブアカデミーのチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑮に準じる。
- ⑫シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- ⑬選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑭ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- ⑮ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会 第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、大会当日までに日本協会に承認され場合のみ認められる。
- ⑯日本協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

15. テクニカルエリア

- (1)テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導2名以上3名以内とする。
- (2)その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

16. 警告・退場

- (1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者補充することができる。主審は競技者が補充されようとする間は、試合を停止する。
- (2) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- (4) 退席処分：ベンチ（監督・コーチ・役員他）が判定に対して異議を唱える、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
- (5) 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、(一社)中国サッカー協会第4種委員が務める。委員については、委員長が決定する。

17. 表彰 優勝、準優勝、3位のチームを表彰する。

18. 登録

- (1) 別紙登録用紙に必要事項を記入の上、各県4種委員長から下記へ送付すること。
 - ・2月決定県は確定後1週間以内に報告すること。
 - ・3月決定県は3/15日中に報告すること。

(公益財団法人) 広島県サッカー協会 第4種委員会 委員長 東 一哉
e-mail : kazujiyaken32804@yahoo.co.jp

- (2) 登録後の選手変更は原則として認めない。
- (3) 登録後の変更は、疾病・傷害についての診断書を添えて、大会当日に大会本部の(一社)中国サッカー協会第4種委員長まで申請すること。
- (4) 帯同審判(有資格者、補助審判に入ってもら)を必ず登録すること。

19. 大会の中止について

以下の場合は、大会前、大会中にかかわらず中止になる可能性がある。

- (1) 広島県知事から、インベント（大会）自粛要請、その他大会中止に関わる要請があった場合。
- (2) 選手等のウイルス感染等による活動制限が発生した場合 等
※すべての最終判断は、中国サッカー協会、広島県サッカー協会・保健所・広島県、係各所と相談の上、安全第一を基本に大会本部が決定する。

20. その他

- (1) 本大会の実施に関して、本大会要項に定めのない事項については、(一社)中国サッカー協会第4種委員会が最終的に決定するものとする。
- (2) 大会中の選手の傷害については、応急処置はするが、主催者・主管者とも一切責任を負えない。
- (3) 参加料とし10,000円を3月15日までに必ず下記の口座に振り込むこと。

